



品川区 青少年委員だより

品川区青少年委員会は、地域の青少年の実態を把握し、青少年および青少年関係団体の育成の援助を行うことと並行して青少年委員会活動のPRを推進しています。

子ども未来部 子ども育成課長 廣田 富美恵



ジュニア・リーダー教室 50周年を祝して

青少年委員の皆さまには、日頃より品川区の子どもたちの健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

なかでも、ジュニア・リーダー教室事業は、品川区の小学生・中高生が地域や学校のリーダーとなることを目標に、青少年委員の方々が、今の子どもたちを取り巻く環境や現状を踏まえた議論・検討を重ね、企画・運営されており、今年で50周年を迎えます。

核家族化が進み、地域社会のつながりが希薄となっていく中、ジュニア・リーダー教室は、小学生から中高生までの異年齢の子どもたちが仲間となり、先輩であるリーダーとともに年間を通じ、さまざまな体験により成長できる貴重な場となっています。世代を超えてリーダーが引き継がれ、この素晴らしい活動を継続できたのは、ひとえに品川のコミュニティ力の賜であると感じています。青少年委員活動は、自然体験事業など多岐にわたりご苦勞をかけておりますが、私どもも皆さまと両輪となれるように取り組んでまいります。

品川区青少年委員会 会長 平林 繁雄



日頃より、青少年委員会の活動にご理解いただき、ありがとうございます。

平成から新たな元号『令和』へと改元された今年度、私たち青少年委員会の主力事業であるジュニア・リーダー教室は50周年を迎えます。この事業は、昭和44年から続くもので、子どもたちの健やかな成長を地域の中で見守ってきました。こうしたことが、先輩たちから脈々と受け継がれ今に至っていることはたいへん感慨深いものがあります。時代とともに、保護者や子どもたちから求められるものが変わるなか、私たちも教室運営に工夫を凝らしながら取り組んでいます。初々しかった子どもたちは、異年齢・異学年との交流を通じ、様々な経験を積み重ね、たくましく育っていきます。やがて、受講生だった子どもたちが、今度は先輩として後輩を支え、それが次世代へと受け継がれていくことは重要なことだと感じています。

今後も私たち青少年委員会は、子どもたちの健やかな成長のため、日々邁進して参りますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

青少年委員紹介



役員



(1列目左から) 有馬成美 (副会長/荏原第四) 平林繁雄 (会長/荏原第五) 半戸紀子 (会計/荏原第一) (2列目左から) 石井義人 (書記/品川第二) 石田美恵子 (副会長/大井第二) 廣田ヨシ子 (会計/品川第一) 木下晴夫 (書記/荏原第二)

育成部



(前列左から) 石渡直美 (品川第一) 小林裕治 (部長/荏原第一) 近藤祐子 (荏原第三) (後列左から) 若井田悦男 (大井第三) 清水昇司 (副部長/大崎第一) 武藤広美 (八潮) 石橋伸一 (書記/大井第一)

事業部



(前列左から) 大澤健一 (部長/荏原第一) 荒井雅子 (荏原第三) (後列左から) 飯田和久 (副部長/荏原第四) 小池みよ子 (書記/荏原第五) 小暮 登 (大井第三)

広報研修部



(左から) 武内明子 (部長/荏原第五) 鳥海君美子 (副部長/荏原第四) 落合真紀子 (大井第二) 高木栄一郎 (荏原第三) (右上) 野田栄一 (書記/大崎第一)

事務局

事務局として私たちを支えている
品川区子ども未来部 子ども育成課

| | |
|-------------|--------|
| 子ども育成課長 | 廣田 富美恵 |
| 子ども育成課庶務係長 | 菅野 令子 |
| 子ども育成課庶務係主査 | 田中 鉄平 |
| 子ども育成課庶務係主事 | 栗林 祐未 |
| 子ども育成課庶務係主事 | 納谷 幸佑 |

※敬称略

令和元年度品川区青少年委員会宿泊研修会

令和元年6月15(土) 16日(日) 栃木県日光市

今年度の青少年委員会宿泊研修会は雨の中の出発でした。憾滿が淵・化け地蔵を散策後、日光光林荘へ到着。研修は子ども育成課 廣田課長の子どもたちの今後の姿、変化している子ども達の実態について、平林会長の現在の親、児童の考え方の変化に対してなどの講話の後、3つのグループに分かれて「青少年委員会の活動を通じて感じる成果と課題」というテーマでそれぞれの意見を出し、話し合い、これからの青少年委員会の活動について発表をしました。翌日は宿舎を出発、日光東照宮を見学して、区役所に戻りました。今回の宿泊研修会では青少年委員と事務局の皆さんとの絆をより一層深めることができたのではないかと思います。



集合写真



グループワークの様子

今後の事業予定

11月23日(土)
親子イベント
親子で楽しめるイベントを企画中

12月22日(日)
親子ネイチャー・プロジェクト Part.3
おもちゃつきとお正月にちなんだ工作など

2月22日(土)
お楽しみイベント
詳細は未定






以前の青少年委員だよりをご覧になれます→

ジュニア・リーダー教室

令和元年5月12日(日) 開講式 旗の台文化センター

ハウ!元号が変わって最初のジュニア・リーダー教室が旗の台文化センターでの開講式から始まりました。今年は160名の受講生とともに、50周年を迎えることとなりました。永きにわたって教室運営ができたことに感謝するとともにこれからもますます楽しい教室を運営できるように頑張ります。冒頭の挨拶「ハウ」は、ジュニア・リーダー教室での挨拶です。ハウには、ご機嫌を伺ったり、作り方を尋ねるといった意味があります。どのように教室運営をしていくか皆さんと一緒に考えながら進めていきます。さあ、50年目のジュニア・リーダー教室に向かって、皆さんも一緒に「ハウ!」



開講式の様子



青少年委員と各教室を担当するリーダー

令和元年7月14日(日) 小学生デイキャンプ みなとが丘ふ頭公園

ジュニア・リーダー教室小学生コースは、7月教室にデイキャンプを毎年実施しています。今年は、八潮公園からデイキャンプ場まで徒歩で移動し、カレーライスを作って食べてから八潮公園まで移動して解散しました。これはサマーキャンプに向けて、徒歩で移動する際の安全な歩き方や服装の確認と火付け、刃物の使い方を勉強するために行っています。雨模様の中、5、6年生はカレーライス、4年生は火付けの体験をしました。サマーキャンプでは、一人一人がもっと実体験できるよう企画しています。今から楽しみます「ハウ!」



子ども達が協力してカレー作りを行いました



カレーを手に笑顔の子ども達

令和元年6月29日(土) 30日(日) 中高生合宿 静岡県桃沢野外活動センター

50周年を迎える今年から中高生コース6月教室に1泊2日の宿泊合宿が加わりました。これはジュニア・リーダー教室のサマーキャンプに向けた実技研修を目的として企画されたものです。二日間雨模様の中、テントを張り自炊をし、荏原消防署職員の方からロープワークを教わったり、茶摘み体験をしたりと盛りだくさんな企画を体験することができました。中高生はここでの経験を元にサマーキャンプでは、楽しい企画や小学生のお世話ができるように準備を進めていきます。小学生にとっても今年初めてのテント泊です。少しでも小学生の不安を取り除けるように中高生のみんな頑張ってます。「ハウ!」



荏原消防署によるロープワーク講習



飯盒でご飯を炊く様子

令和元年8月23日(金)~26日(月) サマーキャンプ 長野県望月少年自然の家

ジュニア・リーダー教室前半のイベント「サマーキャンプ」が終わりました。中高生は3泊4日、小学生は2泊3日の日程で毎年行っています。今年は安全と協力をテーマに一人一人が協力し合い楽しく安全なキャンプ運営を目指しました。炊飯では、ナタを使わずに火を起こすように指導しましたが、最初は各会場ともに戸惑い、会場ごと食事ができるまでの時間にかかなりばらつきが見られました。ナイトハイクでは、暗闇が怖くて引き返してきた子どももいましたが、ナイアガラ花火などを見てみんな楽しんでいましたよ!三日目は、前日の経験から火起こしがみんなうまくなり、かなり早く火が起きていました。朝食後は、会場別にスタンツ練習などをして、昼食には流しそうめんを堪能し、午後は水遊びなどで楽しんだ後、夕食のバリエアりに挑戦しました。とても美味しかったです。キャンプファイヤーでは、それぞれの会場が練習したスタンツを披露し、全員トーチ棒を持ってのファイナーレは感動しかありません。大きなケガもなく安全と協力では達成できたのではないのでしょうか?さあ、後半の活動も楽しく頑張りましょう!「ハウ!」



全泊テントに泊まりました



飯盒でご飯を炊きました



みんなでバリエア作り



トーチを持ってキャンプファイヤーのファイナーレ

平成31年4月27日(土) みなとが丘ふ頭公園

親子ネイチャー・プロジェクト WAKUWAKUオリエンテーリング

Part.1

時折小雨が降る肌寒い生憎の天気でしたが、多数の応募をいただいた中から74名の方に参加いただき開催されました。講師として来ていただいた「きのこさん」(本名:村瀬さん)提供のQRコードが描かれた9種類のカードが公園内に散りばめられ、カードを目指して親子で協力しながら探索。QRコードは、スマートフォンの読み取り画面をかざすと、すいとんの食材が表示される仕組みとなっています。QRコードを読み取り、表示された食材を確認し、その場所にある食材カードを時間内により多くゲットするのに挑戦していただきました。

ゲットした食材カードを野菜やお肉と交換し、親子で力を合わせて食材を下ごしらえした後、大きなお鍋に次々とその食材を投入して待つこと数分、おいしいすいとんが出来上がりました。一生懸命作ったすいとんを親子で何杯もお代わりされていました。午後は、木を使った工作を行い、焼き板づくりをしました。親子の絆が深まった一日になったのではないのでしょうか。



森の中でQRコードを探す



QRコードを読みこむと材料の切り方を知ることができます



すいとん作りの様子

令和元年8月10日(土) 豊葉の杜学園アリーナ・荏原第五地域センター 親子で作ろう・遊ぼう! 吹き矢に手裏剣! 忍者体験?



猛暑の中、30組67名の参加者を迎え「親子で作ろう・遊ぼう!吹き矢に手裏剣!!忍者体験?!!」を行いました。午前中は吹き矢の矢づくりや本体の装飾、手裏剣作りを行い、薄いセロファンを用いた矢作りなどでは慣れない作業に悪戦苦闘。手裏剣は折り紙で作成し、比較的簡単にしかも上手に作り上げていました。午前中の作業では、皆さん無事に完成させる事が出来ました。

昼食を済ませアリーナに移動し、いよいよ忍者体験?の始まりです。吹き矢修行・手裏剣修行・障害物修行の3つのコーナーに分け、それぞれ班ごとに修行してもらいました。エアコンがなく暑い中で文字通りの修行となりましたが、子どもたちが元気に楽しく修行している姿を見ることが出来ました。保護者も思った以上の吹き矢の威力に驚いていましたが、的にズバッと刺さった時の爽快感に大変満足されているようでした。夏休みの楽しい思い出づくりのお手伝いが出来たことに準備の苦労が報われた思いです。



吹き矢づくりの様子



忍者の覆面をつけて吹き矢の修行



手裏剣の修行中